



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 リソルホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5261 URL https://www.resol.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今泉 芳親  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 大澤 勝 TEL 03-3344-8861  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	16,391	0.3	1,886	73.7	2,185	107.1	1,039	113.9
2020年3月期第3四半期	16,349	△0.3	1,085	21.8	1,054	28.1	486	217.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,041百万円 (92.4%) 2020年3月期第3四半期 541百万円 (142.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	187.23	—
2020年3月期第3四半期	87.55	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	37,746	14,123	37.3	2,536.26
2020年3月期	41,253	14,516	32.1	2,385.40

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 14,087百万円 2020年3月期 13,249百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想につきましては、現時点において合理的な業績予想の算定が困難であると判断し、引き続き未定とさせていただきます。今後、業績予想の開示が可能となった時点で、配当予想につきましても速やかに開示いたします。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期につきましては、新型コロナウイルスによる影響を合理的に算定することが困難であると判断し、引き続き未定とさせていただきます。今後、新型コロナウイルスの影響を見極めながら、合理的な業績予想の算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	5,564,200株	2020年3月期	5,564,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	9,855株	2020年3月期	9,855株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	5,554,345株	2020年3月期3Q	5,554,382株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
	(1) 経営成績に関する説明 .....	2
	(2) 財政状態に関する説明 .....	2
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
	(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
	四半期連結損益計算書	
	第3四半期連結累計期間 .....	5
	四半期連結包括利益計算書	
	第3四半期連結累計期間 .....	6
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
	(継続企業の前提に関する注記) .....	7
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
	(追加情報) .....	7
	(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益の大幅な減少や雇用情勢の悪化等、依然として厳しい状況にあります。制限を受けていた経済活動が徐々に再開される動きがあるものの、一進一退を繰り返しており、海外の感染状況をみると経済への影響は長期化するものと懸念されます。

このような環境の中、当社グループでは、お客様への安全配慮及び従業員の安全確保を最優先とする対策に取り組みながら、WEBを中心とした宣伝強化、テレワーク向け商品企画、密を避けた商品・サービスの強化、GoToトラベルキャンペーン施策などを実行しました。

ホテル運営事業では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け休館していたホテルの営業が順次再開し、GoToトラベルキャンペーン施策実行で一時的に業績の回復が図れました。特に「スパ&ゴルフリゾート」や「ペット&スパホテル」などのリゾート関連が大きく回復しました。また、10月には「ホテルリソルトトリニティ大阪」のグランドオープンも着実に進めました。

ゴルフ運営事業では、屋外スポーツへの注目やGoToトラベルキャンペーン関連を活用した宿泊や飲食とのコラボにより個人集客ならびに売上が好調となりました。また、グループ施設共通で使える「リソルカードG」会員へのイベント企画強化により会員来場比率アップにつなげました。

リソルの森(CCRC)事業では、GoToトラベルキャンペーン施策による高価格帯商品・付帯売上の販売強化や新キャンプサイトエリア拡張など、各種施策の積極的な実施によりリゾート部門は好調となりました。また、「グランヴェーオースパヴィレッジ」内にある『紅葉乃湯』が2020年グッドデザイン賞を受賞しました。ゴルフ部門においても宿泊エリアとの相乗効果や新規正会員獲得の効果もあり好調に推移しました。さらに「Sport in lifeプロジェクト」の本格展開、「ゴルフバケーションクラブ リソルの森」の企画、「ウェルネスリタイアメントコミュニティ構想」推進などに取組み事業の基盤強化を積極的に図りました。

福利厚生事業では、GoToトラベルキャンペーン施策実行により手数料売上の獲得と直営施設送客を行いました。また、コロナ禍での利用を想定し出前館やオンラインでの提供メニューの新規開拓に注力し、利用者が満足する商品づくりと情報提供で利用率向上を図りました。

再生エネルギー事業では、福島石川太陽光発電所の発電量確保のための施策を確実に実施しました。

投資再生事業では、福島石川太陽光発電所第一設備の売却を実施しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、投資再生事業の福島石川太陽光発電所第一設備売却実施もあり、売上高は、16,391百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は1,886百万円（前年同期比73.7%増）、経常利益は、2,185百万円（前年同期比107.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,039百万円（前年同期比113.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、37,746百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,507百万円減少しております。これは主に販売用不動産の減少等によるものであります。負債につきましては、23,623百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,114百万円減少しております。これは主に、短期借入金の減少等があったことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の拡大が業績に与える影響に未確定要素が多く、現時点で業績予想を合理的に算定することが困難であると判断し、引き続き未定としております。今後、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら、合理的な業績予想の算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

また、上記の通り2021年3月期の業績予想を引き続き未定とすることから、配当予想につきましても引き続き未定とし、2021年3月期の業績予想の算定が可能となった時点で、配当予想につきましても速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,880,437	2,494,594
売掛金(純額)	1,085,755	953,409
商品	118,649	133,993
販売用不動産	9,439,585	6,377,024
貯蔵品	74,339	81,870
未収入金(純額)	689,177	222,979
その他(純額)	1,538,975	873,218
流動資産合計	15,826,919	11,137,091
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	3,629,248	6,176,179
土地	12,190,095	12,192,727
その他(純額)	4,764,534	2,969,402
有形固定資産合計	20,583,878	21,338,309
<b>無形固定資産</b>		
のれん	616,024	553,142
その他	386,408	371,185
無形固定資産合計	1,002,432	924,327
<b>投資その他の資産</b>		
投資その他の資産合計	3,840,598	4,346,613
固定資産合計	25,426,908	26,609,250
資産合計	41,253,828	37,746,341

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	524,822	360,332
短期借入金	3,300,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	3,083,680	2,148,182
未払法人税等	94,630	89,247
賞与引当金	175,041	48,747
その他	4,118,004	2,900,357
流動負債合計	11,296,179	6,146,867
固定負債		
長期借入金	10,816,000	12,432,352
預り保証金	2,137,288	2,035,410
退職給付に係る負債	500,450	467,485
従業員特別補償引当金	176,291	260,741
資産除去債務	503,019	395,315
その他	1,307,899	1,884,927
固定負債合計	15,440,949	17,476,232
負債合計	26,737,128	23,623,099
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,948,088	3,948,088
資本剰余金	2,401,700	2,475,845
利益剰余金	8,551,927	9,314,138
自己株式	△23,461	△23,461
株主資本合計	14,878,254	15,714,610
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△1,621,503	△1,621,503
退職給付に係る調整累計額	△7,394	△5,866
その他の包括利益累計額合計	△1,628,897	△1,627,370
非支配株主持分	1,267,342	36,001
純資産合計	14,516,699	14,123,242
負債純資産合計	41,253,828	37,746,341

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	16,349,231	16,391,644
売上原価	6,187,649	7,143,989
売上総利益	10,161,582	9,247,654
販売費及び一般管理費	9,075,712	7,361,151
営業利益	1,085,869	1,886,502
営業外収益		
受取利息	82	21
受取賃貸料	9,870	6,771
受取保険金	59,975	—
還付金収入	8,819	4,481
雇用調整助成金	—	508,351
その他	34,955	135,002
営業外収益合計	113,703	654,628
営業外費用		
支払利息	92,170	147,174
支払手数料	49,324	159,169
その他	3,211	49,671
営業外費用合計	144,707	356,015
経常利益	1,054,866	2,185,115
特別利益		
固定資産売却益	510	927
受取保険金	—	90,729
特別利益合計	510	91,656
特別損失		
固定資産除却損	1,275	212
従業員特別補償引当金繰入額	124,480	97,450
貸倒引当金繰入額	9,950	—
新型コロナウイルス感染症による損失	—	517,573
災害による損失	166,971	—
その他	—	39,592
特別損失合計	302,677	654,829
税金等調整前四半期純利益	752,699	1,621,942
法人税、住民税及び事業税	197,493	141,531
法人税等調整額	15,917	440,502
法人税等合計	213,410	582,034
四半期純利益	539,288	1,039,908
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	53,016	△19
親会社株主に帰属する四半期純利益	486,272	1,039,928

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	539,288	1,039,908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	—
退職給付に係る調整額	1,881	1,527
その他の包括利益合計	1,881	1,527
四半期包括利益	541,170	1,041,435
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	488,153	1,041,455
非支配株主に係る四半期包括利益	53,016	△19



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響)

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は、度重なる緊急事態宣言による経済活動の制限を受け、当社グループのホテル等において臨時休業及び営業時間の短縮を行うなど、売上高の減少等の影響を受けております。

当社グループは依然として今後の感染症の広がり方や収束時期等を正確に予測することは困難な状況にある中、当該新型コロナウイルス感染症の影響が2021年3月まで継続し、その後は一定程度需要が回復していくという仮定の下、会計上の見積りを行っております。

なお、四半期連結財務諸表作成時点において入手可能な情報によって見積りを行っておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況や影響については不確実性が高いため、その状況によっては今後の当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(四半期連結損益計算書関係)

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う緊急事態措置等による、営業施設等の臨時休業期間中に発生した固定費(賃料・減価償却費など)517,573千円を新型コロナウイルス感染症による損失として特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注①)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注②)
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客への売上高	8,401,419	3,807,409	1,801,190	1,019,477	24,992	1,294,741	16,349,231	—	16,349,231
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	48,047	94,758	29,782	73,260	—	659,559	905,408	△905,408	—
計	8,449,467	3,902,167	1,830,973	1,092,737	24,992	1,954,301	17,254,640	△905,408	16,349,231
セグメント利益又は損失(△)	1,156,501	265,903	△109,893	△212,570	△149,154	1,097,433	2,048,219	△993,353	1,054,866

(注) ① セグメント利益又は損失(△)の調整額△993,353千円には、セグメント間取引消去△806,760千円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△186,593千円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

② セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注①)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注②)
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客への売上高	3,142,165	2,738,519	1,596,781	684,508	1,051,460	7,178,209	16,391,644	—	16,391,644
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	42,360	32,084	347,162	13,357	62	191,224	626,250	△626,250	—
計	3,184,525	2,770,603	1,943,944	697,865	1,051,522	7,369,433	17,017,894	△626,250	16,391,644
セグメント利益又は損失(△)	△1,115,116	84,751	748	△166,884	495,422	3,401,439	2,700,361	△515,245	2,185,115

(注) ① セグメント利益又は損失(△)の調整額△515,245千円には、セグメント間取引消去△237,367千円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△277,878千円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

② セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

第1四半期連結会計期間より、「ゴルフ運営事業」の企画開発部門が、全社的な業務支援を行う事業へと変更されたため、当該事業の経費等を「全社損益」へ変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(セグメント名称の変更)

第1四半期連結会計期間から、報告セグメントを従来の「不動産関連事業」を「投資再生事業」へ、「CCRC事業」を「リソルの森(CCRC)事業」に名称変更しております。また、前第3四半期連結累計期間については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

なお、当該変更がセグメント情報に与える影響はありません。

(セグメント利益又は損失の測定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、「投資再生事業」を含めた各セグメントの経営成績を明確にするため、当社グループの経営管理指標を営業損益から経常損益をより重視する体制となりました。このため、セグメントの業績をより適切に評価するために、セグメント利益の開示を四半期連結損益計算書の営業利益又は損失と調整する方法から経常利益又は損失と調整する方法に変更しております。併せて、各報告セグメントの業績をより適切に反映させるために、「全社損益」の配賦基準を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント利益については、上記の変更を踏まえて作成した情報を記載しております。